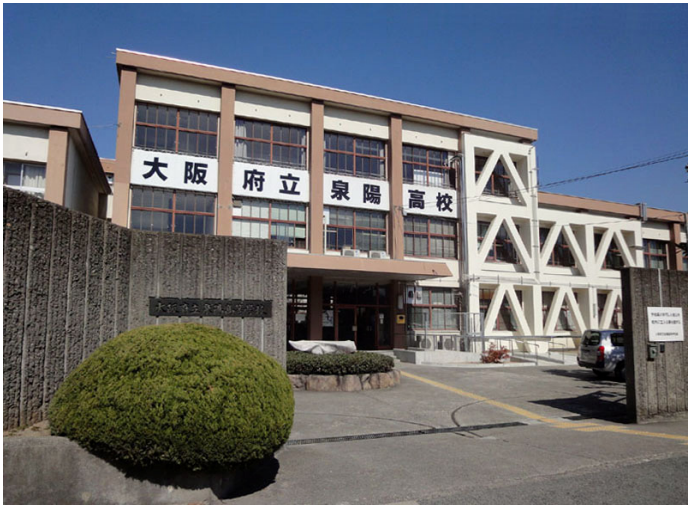


外観



1900年に創立された歴史ある学校。昭和40年代前半に改築された校舎は、すでに耐震補強工事が完了している。

改修前



改修前はタイル張りの湿式清掃のトイレだった。きれいに清掃されているが、和式便器中心で収納スペースもなく、タイルの目地は部分的に変色していた。

洗面コーナー



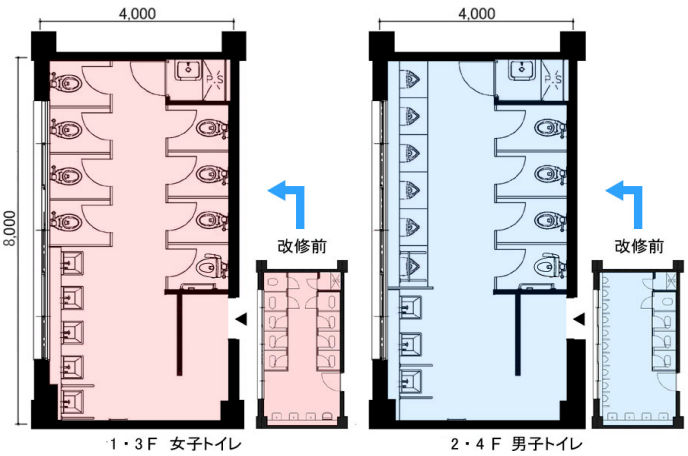
洗顔もできる大きさの壁掛洗面器を設置。ノンタッチで水の出止めができ、水じまいのよい壁付タイプの自動水栓を採用している。アンケートで要望が多かった水石けんや全身鏡も設置している。

小便器コーナー



床の清掃がしやすい低リップタイプの壁掛小便器を採用。小便器の足元には、汚だれ石を設置。

トイレ図面



1・3Fの女子トイレ、2・4Fの男子トイレの計4ヶ所を改修。大便器は、すべて洋式とした。

入口



トイレが密室にならないように入ロドアをなくし、ガラスブロックのパーティションで目隠ししている。ガラスブロックを通して内部の人の気配が感じられる。

大便器ブース



5.5L洗浄の節水タイプの洋式便器を採用。男女トイレとも1ヶ所にウォシュレットと手すりを設置。女子トイレには、アンケートで要望が多かった音姫（擬音装置）とチャームボックスを設置している。

掃除用流しブース



写真左：パイプシャフトスペース横の空間を有効活用し、掃除用流しと棚を設置。写真右：一番奥の扉が掃除用流しブース。

男子トイレ 全体



白を基調とした空間に、大きな窓から自然光が射し込む明るいトイレ空間。

女子トイレ 全体



基本的な仕様、内装は男子トイレと同じ。清掃方法は衛生面を考慮して、乾式清掃を採用している。

建築概要

名 称	大阪府立泉陽高等学校
所 在 地	大阪府堺市堺区車之町東 3-2-1
施 主	大阪府
設 計	株式会社好村
施 工	株式会社三協設計事務所
工事期間	2011年7月～2012年3月
竣工年月	(改修)2012年3月

水まわりの特長

＜改修の経緯＞
大阪府では府立高校の教育環境改善のため、昭和40年代前半より以前に建てられた高等学校20校のトイレ改修を、平成23年度から5年計画で進めている。初年度は、給排水設備を含むトイレ改修を4校で実施した。また平成26年までには、すべての府立高校の耐震補強工事も完了させる予定。

＜トイレの特長＞
前回の改築から50年近く経過している泉陽高校では、1系統4ヶ所のトイレ改修を実施した。改修の主なポイントは、「エコ（節水・節電）」「乾式化」「洋式化」。なお、改修にあたっては教職員と生徒を対象にアンケートを行い、要望が多かった音姫（擬音装置）やウォシュレット、水石けん、全身鏡などを採用している。

＜校長先生からのコメント＞
「学校のトイレ研究会」の研究誌に掲載された事例を見て、「学校でも乾式・洋式の快適なトイレが実現できる」と確信した。ある意味、トイレは最も人間的な場所であり、そこを快適にすることは学ぶ環境を充実させるための大変重要な要素であると考えている。今回の改修で、トイレを単なる排泄の場ではなく、生徒間のコミュニケーションを図る場所にすることができた。